令和６年度　事業報告書

自　令和　６　年　４　月　１　日

至　令和　７　年　３　月３１日

社会福祉法人　新見市社会福祉協議会

令和６年度　事業報告書

【概要】

令和６年度は、コロナウイルス感染症が収束し地域での活動も概ね再開されたものの、食料や光熱水費などの物価高騰により生活が困窮するなど、地域福祉を取り巻く環境は引き続き厳しい状況でありました。

本会は地域福祉を推進する中核的な団体として、すべての市民が地域の一員としてのつながりを持ち、住み慣れた地域でともに支え合うことにより、安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指して、市民の皆さまに協力いただくとともに、行政・関係機関等との連携により事業を推進してまいりました。令和６年度は令和１１年度までの第４次地域福祉活動計画の初年度であり、第３次地域福祉活動計画の成果や課題をふまえ、計画に定めた事業について、ほぼ計画どおり実施することができております。

事業計画に定めた３つの基本目標ごとに事業の成果について概要を説明します。

まず、「基本目標１　福祉の心を育てよう」では、１０月２０日に福祉大会を開催し、市民や福祉関係者多数の参加があり、地域福祉活動実践者の発表や記念講演などにより地域福祉への関心を高めることができました。また、市民の皆さまにとって分かりやすく必要な情報を提供するよう努め、社協だより、マスコミへの情報発信等に加え、新たに instagram で本会の情報を広い世代に対し発信するなど、福祉意識の啓発や本会への理解促進に努めました。

福祉教育の推進では、小学生へのちょボラ運動や出前福祉教室のほか、中高生を対象とした夏のボランティア体験を通じて、社会福祉への理解を深めるとともに、様々な人との出会いから「ともに生きる」ことの意味を考える機会とし、福祉活動への関心を高められるよう取り組みました。

災害ボランティアの推進では、災害ボランティア養成講座を行い、災害ボランティアについての知識を深めるとともに、能登半島地震の被災地に本会から派遣した職員が、災害ボランティアセンターでの活動について報告を行うなど、災害時の被災者支援体制の充実を図りました。

次に「基本目標２　ともに支えあおう」では、各サロンと密接に連絡を取りながらサロン活動の継続を促すとともに、サロンの立ち上げ支援や、サロン集いの場交流・研修会の開催など、居場所や交流の場づくり、見守り支え合う地域づくりを推進してまいりました。

また、福祉連絡会も各地区で開催することができ、福祉委員への役割周知や民生委員・児童委員等との連携強化を促進するとともに、見守り活動や孤立防止の重要性などについて啓発を行い、福祉委員活動の支援に努めました。

地域での支え合いの推進では、地区社協の活動や友愛訪問などが、関係者の様々な工夫により実施され、高齢者の不安感の軽減や住民同士の交流の機会の充実など地域福祉の推進を図りました。

また、地域の福祉課題の把握やその解決に向けて協議する場である小地域ケア会議を３４地区で実施することができ、地域の見守り・支え合い活動等の創出、各種研修会の開催支援のほか、地域福祉活動の基盤となる地域運営組織設立の支援等を行い、２地区において新組織が設立されました。

次に「基本目標３　ふだんの暮らしを支えよう」では、権利擁護の中核機関となる新見市成年後見相談センターにおいて、成年後見制度の普及啓発、利用促進や後見人支援などの機能の充実に努めるとともに、家庭裁判所や行政など関係機関との連携強化に努めました。特に、権利擁護推進セミナーや市民後見人フォローアップ研修における市民後見人の活動発表などにより、成年後見制度の普及や市民後見人の育成支援の強化に努めました。こうしたことから市内の市民後見人登録者１０名のうち、７名が後見人として活動されるなど、着実に市民後見人の充実につながっています。また、法人後見事業においても、適正な後見業務に努めるとともに、市民後見人との複数受任や法人後見支援員の充実により、権利擁護の体制強化も図ることができました。

年２回開催の「なんでも相談会」も定着し、それぞれの相談件数が２２件、２６件と、毎回多くの相談が寄せられています。また、相続や資産管理に関する研修会にも多くの参加者がありました。

新見市生活相談支援センターでは、フードドライブ事業を通年実施し、多くの方から食料等の寄付を受け、生活に困窮している世帯への支援や大学生等への配布を行うとともに、１２月には、寄付された食料等を使って食事の提供と居場所の確保としてぴおーらキッチン(地域食堂)を開催し、多くの参加者があり、生活に不安を抱える人の支援や地域との交流の機会を確保しました。

ピオーラカフェ(認知症カフェ)は、専門職による講話や大学生による企画コーナーなど、参加者が気

軽に交流でき、認知症について理解することができる場となるなど順調に実施することができました。
また、社会福祉法人連絡協議会において、フードドライブ事業などの食の支援に取り組むとともに、前年に続き、災害時の緊急連絡体制の図上訓練を実施し、社会福祉法人同士の日頃の連携体制づくりに努めました。
３つの基本目標に加え本会が実施している介護サービス事業については、依然厳しい経営状況にありますが、市内全域を対象とする介護事業所としての役割の重要性を認識し、利用者の立場に立った安全で質の高いサービスの提供に努めてまいりました。
また、法人運営では、総合経営企画室が中心となって、介護保険事業所経営会議を実施し、各事業所の現状・課題の把握、今後の方向性等について検討するとともに、介護事業所の安定経営に向けて、関係機関への要望や広報の強化に努めました。
さらに、第１次総合経営計画に基づき、社協の経営理念や職員の行動指針などの社協ビジョンを役職員で共有するなど、計画に掲げられた取組を着実に実行しました。
各事業の実施状況については次のとおりです。

法人運営事業

【理事会】

	開催期日	出席者数	主　な　議　案
1回	令和6年6月6日	理事10人 監事2人	・令和5年度事業報告・収支決算 ・新見市地域福祉センター設置規程の一部改正 ・資金収支補正予算(第1号) ・評議員選任・解任委員会の委員の選任 ・定時評議員会の開催 (報告)会長・常務理事職務執行状況 (報告)介護職員処遇改善計画
2回	令和6年12月17日	理事7人 監事2人	・理事候補者の推薦 ・評議員会の開催 (報告)予備費の充当 (報告)会長・常務理事職務執行状況 (報告)日常生活自立支援事業実施状況調査の結果 (報告)社会福祉法人指導監査の結果 (報告)介護保険事業所運営指導の結果 (報告)厚生年金保険等被保険者資格及び報酬等の調査結果
3回	令和7年3月17日	理事9人 監事2人	・資金収支補正予算(第2号) ・職員就業規程の一部改正 ・嘱託職員及び臨時職員等就業規程の一部改正 ・登録ホームヘルパー就業規程の一部改正 ・生活支援員等就業規程の一部改正 ・育児・介護休業等に関する規程の全部改正 ・新見市地域福祉センター設置規程の一部改正 ・令和7年度事業計画・収支予算 ・評議員会の開催 ・新見市社協中央デイサービスセンター・神郷デイサービスセンター運営規程の一部改正 (報告)総合経営計画の評価 (報告)事業評価委員会の結果 (報告)令和7年度介護職員処遇改善計画

【評議員会】

	開催期日	出席者数	主　な　議　案
1 回	令和 6 年 6 月 21 日	18 人	・令和 5 年度事業報告・収支決算 ・資金収支補正予算(第 1 号)
2 回	令和 6 年 12 月 25 日	17 人	・理事の選任
3 回	令和 7 年 3 月 25 日	16 人	・資金収支補正予算(第 2 号) ・令和 7 年度事業計画・予算 (報告)事業評価委員会の結果

【各種委員会】

苦情解決第三者委員会	設　置　平成 17 年 10 月 1 日
委員構成(2 人)	◇人権擁護委員 2 人
内　　容	福祉サービス利用者等から苦情申し立てがあった場合に解決のための審議を行う。
開催状況	期　　日：令和 6 年 9 月 11 日　　2 人出席 協議内容：苦情解決第三者委員の役割について 社協の取組状況と苦情解決の現状等について

地域福祉活動基金運営委員会	設　置　平成 17 年 4 月 1 日
委員構成(6 人)	◇社協理事 5 人　◇行政関係者 1 人
内　　容	地域福祉活動基金の管理運営及び基金による事業の実施についての審議を行う。
開催状況	期　　日：令和 6 年 12 月 17 日　5 人出席 協議内容：基金の運用状況について、今後の基金の運用について 基金利息の活用について

事業評価委員会	設　置　平成 23 年 12 月 22 日
委員構成(6 人)	◇社協理事 2 人　◇社協評議員 2 人　◇社協監事 1 人　◇行政関係者 1 人
内　　容	地域福祉活動計画に掲げた事業の進捗状況を把握し、評価を行う。
開催状況	期　　日：令和 7 年 2 月 25 日　　5 人出席 協議内容：第 4 次新見市地域福祉活動計画推進における令和 6 年度事業評価について

【総合経営企画室】

第 1 次総合経営計画の推進	
計画推進委員等	常務理事、局長、次長、課長、参事、支所長、総務課係長、地域福祉推進課係長
内　　容	◇第 1 次総合経営計画の推進
開催状況	◇計画推進会議(委員 11 人) ・令和 6 年 5 月 1 日～令和 7 年 3 月 5 日　全 9 回実施 ◇総合経営計画推進研修会 ・令和 6 年 6 月 19 日(本所)、令和 6 年 6 月 20 日(神郷支所)延べ 68 人(実 61 人) ・研修会：「社協の使命及び役割、新見市社協経営理念等について」 ・ワークショップ：経営理念等を周知する方法等について意見交換 ◇経営理念の唱和、普及推進 ・令和 6 年 7 月～給与明細に経営理念を付記、8 月以降、会議や朝礼で経営理念を唱和、 ・各事務所に掲示、全職員に配布 ◇包括的支援体制に向けた研修会(講師：県社協地域福祉部　貝原主査) ・令和 6 年 12 月 17 日　役職員 25 人 ◇計画の評価 ・令和 7 年 3 月 17 日　理事会で「5 つの重点的なとりくみ」について評価 ・1 項目を重点的取組とし、それ以外はすべて継続取組とした。

介護保険事業所等経営会議	
管理職員等	常務理事、局長、次長、課長、参事、総務課係長、事業所管理者ほか
内　　容	介護保険事業所の安定経営と介護サービスの充実等について検討する。
開催状況	◇経営会議(常務理事・局長・次長・課長) ・令和６年８月６日　６人(各課長ほか) ・各種研修会(虐待防止、感染症対策研修、認知症研修) ・ビジョンの共有や部門間連携体制の構築、各課の課題共有 ・令和６年 11 月８日　６人(各課長ほか) ・来年度予算、人材確保について ・令和７年１月 10 日　５人(介護課長ほか) ・各介護事業(訪問介護・訪問入浴・通所介護)の経営状況と次年度の方向性ほか ・訪問介護事業の事業所加算取得や通所介護の経営改善に向けた取組について ・令和７年２月 10 日　７人(介護課長、通所介護事業管理者ほか) ・通所介護事業の利用状況、財務状況等の現状課題と今後の方向性 ◇介護保険事業所会議(介護事業所管理者、職員ほか) ・令和６年４月 25 日　10 人(事業所管理者ほか) ・各事業所の運営状況、災害時 BCP、法令遵守、研修(虐待防止、感染症予防、認知症) ・令和７年３月 26 日　12 人(神郷支所介護事業所職員ほか) ・令和７年３月 28 日　７人(本所介護事業所管理者ほか) ・介護事業所の現状と今後の方向性について

【危機管理体制の整備等】

災害時の初動訓練	
参加職員	常務理事、局長、次長、各課長、参事、支所長、総務・地域係長、事業所管理者
内　　容	災害時におけるＢＣＰ(事業継続計画)などを活用した初動訓練の実施
開催状況	◇災害時連絡体制に伴う図上訓練の実施(社会福祉法人連絡協議会における連携活動) ・令和６年９月３日　24 人(10 法人 11 事業所、オープンチャットによる連絡訓練) ◇ＢＣＰ訓練 ・令和６年９月６日　14 人 ・金谷地区等で浸水被害が発生したと想定。神郷支所に参集し各課で今後必要な対応等について確認した。

【寄付金】

内訳	令和６年度		令和５年度	
	件数(件)	寄付額(円)	件数(件)	寄付額(円)
香典返し・偲び草	176 件	3,473,000 円	162 件	3,355,000 円
退院内祝い	2 件	30,000 円	0 件	0 円
一般寄付・その他	14 件	222,034 円	14 件	608,706 円
合計	192 件	3,725,034 円	176 件	3,963,706 円

【基金運営事業】

◇令和６年度末　基金運用状況

種類	帳簿価額	利率	年間利息	期間	備考
第 51 回利付国債	100,000,000 円	0.3%	300,000 円	30 年	
第 171 回利付国債	50,000,000 円	0.3%	150,000 円	20 年	
米国債	49,704,731 円	4.25%	2,000,000 円	10 年	額面 317 千ドル
定期預金	295,269 円	0.125%	369 円	1 年	
合計	200,000,000 円		2,450,369 円		

※米国債年間利息は１ドル 150 円の場合の金額

◇令和６年度　基金運用収益

種類	金額
国債利息	450,000 円
定期預金利息	54 円
合計	450,054 円

※上記運用収益を心配ごと相談事業、福祉委員等ボランティア活動保険料、友愛訪問事業に充当

【役職員研修】

開催状況	内　容	参加者
職員研修 令和６年６月 19 日 令和６年６月 20 日	◇総合経営計画推進研修会(研修会・ワークショップ) ・「社協の使命及び役割、新見市社協経営理念等について」 (講師：矢田貝常務理事、髙瀬事務局長) ・ワークショップ：経営理念等を周知する方法等について	職員 延べ 68 人
役職員研修 令和６年 12 月 17 日	◇包括的支援体制に向けた研修会 ・講師：岡山県社協地域福祉部　貝原主査	理事・監事 ・職員 25 人
職員研修 令和７年２月 15 日	◇新見市社会福祉法人連絡協議会研修会を聴講 ・講師：新見市社会福祉法人連絡協議会　吉田直記会長 ・講師：社会福祉法人愛誠会施設長　池田和泉施設長	18 人
職員研修 令和７年２月 21 日	◇新見市社会福祉法人連絡協議会研修会を聴講 ・講師：オレンジドア実行委員会　丹野智文代表ほか	７人

【健康経営に関すること】

開催状況	内　容	参加者等
令和６年 11 月 15 日	◇健康アップ勉強会「良い睡眠が健康をつくる」(新見公立大学健康科学部　井上真一郎　教授	38 人

【新見市地域福祉センター貸館事業】

	令和６年度	令和５年度
利用件数	204 件	179 件

地域福祉事業

1. 福祉の心を育てよう

事業名	福祉大会	事業区分	自主事業
事業概要	支え合い活動が市内に広がることや福祉への関心を高めることなどを目的として、地域住民による活動発表と記念講演を行う。		
実施内容	◇10 月 20 日　まなび広場にいみ大ホール　167 人参加 ・支えあい活動の取組発表 ・福本地域振興会「天恵水豆腐づくりで独居・高齢者の見守り訪問事業」 ・記念講演 ・「あきらめない心」北京・ロンドンパラリンピック競泳日本代表　伊藤真波　氏 ・展示企画：社協事業展示(会場ロビー、後日地域福祉センターロビーに掲示)		

事業名	福祉情報の発信	事業区分	自主事業
事業概要	広報紙やホームページ、ＳＮＳなど時代に即応した媒体により本会の活動などについて広報する。		
実施内容	◇公式インスタグラムの開設(12 月 6 日) ◇Facebook・インスタグラム・まいぷれで情報発信　随時(12 月から毎週 1 回以上) ◇社協だよりの作成・発送　年 6 回(奇数月) ◇ホームページでの情報発信　随時		

事業名	社協会員の加入促進	事業区分	自主事業
事業概要	社協会員の加入促進を図り、地域福祉活動の財源を確保する。		

実施内容

◇社協会員の募集

・地域住民、団体等が会員となり、福祉意識の向上と住民主体の活動推進を図ることを目的とする。

	令和 6 年度		令和 5 年度	
会員の種類	会員数	納入額(円)	会員数	納入額(円)
普通会員	7,427	7,027,500 円	7,452	7,140,000 円
賛助会員	47	141,000 円	48	144,000 円
特別会員	220	1,205,000 円	219	1,205,000 円
合計	7,694	8,373,500 円	7,719	8,489,000 円

◇普通会員の加入状況

	令和 6 年度	令和 5 年度
依頼世帯	8,744 世帯	9,086 世帯
加入世帯	7,427 世帯	7,452 世帯
加入率	84.9%	82.0%

事業名	共同募金運動	事業区分	自主事業
事業概要	様々な方法で募金活動を展開し、募金を通じて福祉に参加する意識を育むとともに、地域福祉の向上に役立てる。		

実施内容

◇赤い羽根共同募金運動(10/1～12/31)

募金方法	募金額	募金ボランティア数等	備考
戸別募金	4,130,900 円	7,426 件	各世帯
街頭募金	33,220 円	17 人	10/1 サンパーク新見、にいみプラザ
大口募金	958,500 円	423 人	社協役員・評議員により全域で普及推進
学校募金	38,850 円	9 校	市内小学校
職域募金	674,560 円	152 件	事業所等職員
イベント募金	109,550 円	5 か所	哲多すずらんまつり、哲西健康福祉まつり、JA 感謝祭、神郷ふるさと祭、大佐ふるさとまつり
店頭募金	212,178 円	54 か所	商店、事業所等に設置
自動販売機募金	27,226 円	4 か所	地域福祉センターほか
その他の募金	45,560 円		
預金利息	28 円		
合計	6,230,572 円		

<table>
<tr><td>実施内容</td><td>
<table>
<tr><td>目標額</td><td>4,900,000 円</td></tr>
<tr><td>実績額</td><td>6,230,572 円</td></tr>
<tr><td>達成率</td><td>127.2%</td></tr>
</table>
◇歳末たすけあい募金運動(12/1～12/31)
<table>
<tr><td>募金方法</td><td>募金額</td><td>募金ボランティア数</td></tr>
<tr><td>戸別募金</td><td>4,014,850 円</td><td>7,195 人</td></tr>
<tr><td>その他の募金</td><td>42,181 円</td><td>5 人</td></tr>
<tr><td>預金利息</td><td>4 円</td><td></td></tr>
<tr><td>合計</td><td>4,057,035 円</td><td>7,200 人</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td>目標額</td><td>4,500,000 円</td></tr>
<tr><td>実績額</td><td>4,057,035 円</td></tr>
<tr><td>達成率</td><td>90.2%</td></tr>
</table>
◇広報・啓発
・地区民生委員児童委員協議会、福祉連絡会等様々な場で共同募金の趣旨説明や協力依頼
・社協だより、SNS 等を活用した配分金事業や募金活動の周知
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td>小学生向け福祉教育</td><td>事業区分</td><td>自主事業</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="3">小学生を対象に、福祉に関する学習や体験の機会を提供し、学童期からの福祉意識の醸成を図る。</td></tr>
<tr><td>実施内容</td><td colspan="3">◇小学生向け福祉教育(ちょボラ)
・ちょボラノートによる活動実施(全 15 校参加、取組児童 372 名)
・活動報告書(ちょボラだより)の作成・配布
◇出前福祉教室
・高齢者疑似体験 5 件(思誠小、上市小、高尾小、新見南小、西方小)
・車いす体験 2 件(思誠小、西方小)</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td>夏のボランティア体験</td><td>事業区分</td><td>自主事業</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="3">夏休み中の中高生を対象に、ボランティア活動の機会の提供や、福祉に関する学びを深める研修会を開催し、ボランティア意識の醸成を図る。</td></tr>
<tr><td>実施内容</td><td colspan="3">◇ボランティア体験活動を高齢者・障害者施設で 3 日間実施
・活動期間：7 月 22 日～8 月 23 日
・活動者：44 人　活動先：15 施設
◇事前研修会・活動調整会議　7 月 6 日
・参加者：中高生 41 人　受入施設職員 11 人
・内容：夏ボラの目的、活動上の注意事項、活動目標の設定、ボランティア日程調整、活動内容や留意事項の確認
◇事後研修　8 月 24 日
・参加者：中高校生 32 人
・内容：活動のふりかえり
◇活動報告書(夏ボラ新聞)の作成・配布</td></tr>
</table>

事業名	災害ボランティア推進事業	事業区分	自主事業
事業概要	災害ボランティアの養成、登録を推進し、災害時に迅速に活動できる体制を整備する。		
実施内容	◇災害ボランティア養成講座　6 月 14 日　参加者：50 人 ・報告：石川県能登町災害ボランティアセンターの活動で見えたもの(神郷支所長) ・災害ボランティア登録の説明 ◇個人 52 人、団体 2 団体 ◇岡山コープ災害時の連携等の協議　6 月 24 日 ◇災害支援体制行政・社協合同会議(ZOOM 参加)　7 月 24 日 ◇新見公立大学健康科学部共通教養科目「地域防災演習」への職員派遣　9 月 25 日 ・講話：災害ボランティア活動とボランティアセンターの機能説明 ・演習：災害ボランティア活動のロールプレイ　など		

事業名	ボランティア・福祉活動推進事業	事業区分	自主事業
事業概要	様々なボランティアや支え合い活動推進講座により、福祉意識の醸成を図る。		
実施内容	◇傾聴ボランティア推進事業 ・訪問世帯 1 件　延べ 5 回訪問 ◇令和 7 年度実施の地域福祉推進活動セミナーの企画・調整		

事業名	手話講座	事業区分	市受託事業
事業概要	手話を学ぶ機会を提供し、聴覚障害者への理解を深める。		
取組内容	◇手話奉仕員養成講座(基礎課程) ・実施回数　24 回(48 講座) ・受講者数・修了者数　受講者数 11 人、修了者数 9 人		

2. ともに支えあおう

事業名	集いの場推進事業	事業区分	市受託事業
事業概要	介護予防、地域住民の交流・仲間づくりの促進を目的として、誰でも参加しやすい集いの場づくりを支援する。		
実施内容	◇ふれあいサロンの推進 ・各地区でサロン実施(67 サロン、延べ 579 回開催、延べ 6,002 人参加) ・地区別サロン数(新見 47、大佐 6、神郷 5、哲多 6、哲西 3(うち新規サロン 2、未実施サロン 3)) ◇サロン・集いの場交流会　10 月 30 日　51 人参加 ・講演「これからの人生を楽しく生きる元気力！！～心と体の若返りのコツ～」 ・講師：岡山県立大学　井村圭壮　名誉教授 ◇げんき広場インストラクター派遣(35 サロンに派遣) ◇講師派遣に関する日程調整(ヤクルト健康教室：20 件) ◇活動拠点整備費事業　実施無し ◇活動･立上げ推進(お試しサロン 2 サロン) ◇レクリエーション備品の貸出(63 回) ◇ふれあいサロンマップ(パンフレット)作成 ・サロン活動を実施している場所をまとめたパンフレットの作成(R7 年度配布予定) ◇障害がある人等の当事者サロンの推進 ひだまりサロン実施(活動サロン 2 サロン、開催回数延べ 20 回、参加者延べ 188 人)		

事業名	福祉委員設置・活動支援	事業区分	自主事業
事業概要	地域の福祉課題を把握するアンテナ役として福祉委員を各地区に設置します。また、民生委員や地区社協等との情報共有の場を設け、見守り活動を推進する。		
実施内容	◇福祉委員の設置(委嘱状交付) ・743 地区 827 人に委嘱 ◇福祉連絡会(全地区対象) ・第 1 回：福祉委員の役割説明　42 地区 35 会場　参加者 799 人 ・第 2 回：地域課題について等　32 地区 26 会場　参加者 578 人 ・第 3 回：地域課題について、今年度のまとめ等　1 地区 1 会場　参加者 149 人		

事業名	“ストップ孤立”訪問事業	事業区分	市受託事業・自主事業
事業概要	様々な訪問活動をとおして、身近な地域での見守り活動の充実を図り、孤立・孤独の防止を推進する。		
実施内容	◇ひとり暮らし高齢者訪問の実施 ・80 歳以上独居高齢者世帯を訪問　延べ 5,806 件 ・(月平均訪問件数)本所 343 人、大佐 32 人、神郷 41 人、哲多 41 人、哲西 23 人 ◇友愛訪問事業 ・75 歳以上ひとり暮らし高齢者世帯､80 歳以上高齢者のみの世帯を訪問 ・年 3 回 35 地区で実施　延べ 5,719 人(新見 3,874 人､大佐 493 人､神郷 392、人､哲多 493 人、哲西 467 人) ・ボランティア数：延べ 1,355 人(新見 979 人､大佐 107 人､神郷 94 人､哲多 63 人、哲西 112 人) ・6 月 28 日　事業説明会　参加者 52 人 ◇歳末たすけあい訪問の実施 ・民生委員と協力して、対象者へ 1 世帯あたり 3,000 円の訪問金を配布し、安否確認を行った　訪問件数合計 1,267 世帯 ①満 80 歳以上ひとり暮らし・高齢者のみの世帯　1,211 世帯 ②身体障害者手帳 1 級または療育手帳 A を所持する人　21 世帯 ③準要保護児童生徒のいる世帯　35 世帯 ◇学校等への訪問(図書カード配布)　認定こども園、保育所、小中学校等 34 か所		

事業名	地域ささえあい推進事業	事業区分	市受託事業
事業概要	地域住民と生活支援コーディネーター等の専門職が地域課題について協議する小地域ケア会議を実施し、地域に必要な生活支援サービスや地域活動(ボランティア)等の創出を支援する。		
実施内容	◇既存の地域資源の把握・整理 ・既存の地域資源の調査・取材 1 か所 ・「にいみ暮らしを支えるサービス一覧表」更新 4 回、聞き取り調査 ◇地域課題の把握・協議 ・各地区福祉連絡会、小地域ケア会議において課題把握及び協議 ◇サロン・集いの場の把握・広報 ◇支え合い活動の見える化と取組の推進 ・福本地区「天恵水豆腐づくりで高齢者の見守り訪問事業」の取材、映像化 ・福祉大会において上記の取組発表を実施 ・地域福祉活動ガイドブックの作成・広報 ◇小地域ケア会議の開催・設置推進　全 42 地区中 34 地区設置 51 回 ◇支え合い活動の基盤となる組織づくりの立ち上げ支援 ・地域運営組織設立地区への支援(西方地区、石蟹地区) ・地域運営組織設立準備地区への支援(大井野地区、新郷地区、畑木地区)		

	◇関係者間のネットワークの構築 　・地区社協情報交換会 ◇地域共生社会の構築に向けた推進方法の協議、情報共有 　・地域共生社会コアメンバー会議　6 回 ◇各地域共生社会推進チームとの情報交換、情報共有　42 地区 54 回 ◇生活支援ニーズとサービスのマッチング(地域の福祉課題に基づく活動創出支援) ◇介護予防につながる集いの場の創出に向けた研究 　・サロン・集いの場交流会(10/30　51 人参加) ◇高齢者等の自立支援、重度化予防を目指した支援の検討、提案 　・新見市地域ケア個別会議への参画　10 回 ◇様々なサービス提供主体間の定期的な情報共有及び連携・協働による取組の推進 　・小地域ケア会議職員研修会(7/29　57 人参加) 　・小地域ケア会議全体会(1/16　59 人参加) ◇認知症キャラバンメイトやサポーターとの協働による共生社会の取組の推進 ◇地区社協等の活動推進に向けた各地区の進捗状況の共有　8 回 ◇生活支援サービスの担い手の養成及び活動支援 　・お互いさま研修会の実施(3/15　82 人参加) ◇第 1 層協議体の企画・運営支援　第 1 層協議体打合せ　7 回 ◇第 2 層生活支援コーディネーターの支援 　・新任第 2 層生活支援コーディネーター訪問研修　5 地区 　・生活支援コーディネーター情報交換会(9/19　19 人参加) 　・社協生活支援コーディネーター情報交換会　5 回

事業名	地区社会福祉協議会の支援	事業区分	自主事業
事業概要	地区社協の支え合い活動を推進し、組織の基盤強化を支援する。また、地域活動の担い手の育成に向けた研修会を実施し、地域活動を支援する。		
実施内容	◇地域福祉推進事業助成金の交付　49 地区　4,612,350 円 　・地区社協活動資金の確保(会員会費納入促進) ◇市内 50 地区に地区担当職員を配置 ◇地区社協等の基盤強化・小地域福祉活動計画(地域運営組織将来計画)策定 　・設立地区：西方、石蟹 ◇小地域福祉活動計画作成支援(第 3 次)：上市 ◇地区社協情報交換会の実施　9 月 24 日　56 人参加 　・研修「地域での福祉活動の必要性について」 　・講師　美作大学生活福祉部社会福祉学科　堀川涼子　教授 ◇地域福祉活動ガイドブックの作成		

3. ふだんの暮らしを支えよう

事業名	各種相談事業の開設	事業区分	市受託事業・自主事業
事業概要	市民が抱える多様で複雑な問題に対し、気軽に相談できる相談所を開設する。		
実施内容	◇なんでも相談会の実施 ・弁護士、司法書士など専門職による相談会を年 2 回開催 ・8 月 31 日　相談件数 22 件 ・2 月 15 日　相談件数 26 件 ◇相談会と併せて、研修会を実施 ・8 月 31 日　講師：司法書士　山本国晴　氏　参加者　8 人 ・3 月 2 日　講師：ファイナンシャルプランナー　佐藤香名　氏　参加者 15 人 ◇法律相談会の実施(弁護士による専門相談) ・毎月第 3 水曜日　年 12 回実施　相談 73 件 ◇心配ごと相談会の実施(民生委員による相談) ・毎月第 3 水曜日　年 12 回実施　相談 8 件 ◇よろず相談　随時受付　相談 168 件		

事業名	生活困窮者自立支援事業	事業区分	市受託事業
事業概要	経済的困窮やひきこもり、社会的孤立等あらゆる相談に応じ、生活の改善に向けたプランを作成し、相談者自らが生活再建することを支援する。		
実施内容	◇生活保護に至る前の生活困窮者に対する相談支援 ・新規相談受付件数 31 件 ・自立相談支援プラン策定者 3 人、家計相談支援プラン策定者 1 人 ◇緊急支援事業の実施　16 世帯、延べ 18 件 ◇フードドライブ事業の実施　寄付 116 件 ◇生活相談支援関係機関実務者連絡会議　2 回実施 ◇支えあいの地域づくり研修会　103 人 ・報告「新見市生活相談支援センターの取組について」「地域の民生委員から相談を受けた事例について」(発表：新見市生活相談支援センター職員) ・講演「暮らしに困っている世帯を支えるために」～民生委員・児童委員にできること～(講師：新見公立大学地域福祉学科　山本浩史　教授) ◇「ぴおーらキッチン(地域食堂・交流事業)」の実施　参加者延べ 350 人 ・ぴおーら食堂(地域食堂)など、食とふれあいを通じたつながりと居場所づくり ・ぴおーら BOX 配布：準要保護世帯のうち 31 世帯に向けて食料品等を配布 ◇新見公立大学生への食料品配布(1 回実施)200 人 ◇家計改善に関する市民向け研修会兼職員研修会の実施		

事業名	法人後見・権利擁護推進事業	事業区分	市受託事業・自主事業
事業概要	成年後見制度に関する相談窓口を設置し、相談体制の整備や権利擁護に関する啓発を行う。また、認知症や障がい等により判断能力が不十分な方の権利を守るため、法人として後見人等となり、日常生活を支援する。		
実施内容	◇新見市成年後見相談センター(中核機関)の運営 ・行政関係部署との協議　5 回 ・権利擁護委員会　12 回・権利擁護協議会　1 回 ①広報に関すること ・チラシの配布　地区民生委員会、福祉連絡会等、社協だよりでの広報 ②相談に関すること ・相談件数 54 件　延べ対応回数 191 回 ③制度利用促進(受任者マッチング)に関すること ・権利擁護委員会での受任者調整　合計 7 件		

	④後見人支援(市民後見人を含めた後見人の育成及び支援)に関すること ・8 月 27 日　高梁市・新見市市民後見人交流会　参加者 8 人 ・内容：高梁市・新見市の活動紹介と意見交換 ・3 月 4 日　市民後見人フォローアップ研修の開催　参加者 8 人 ・講演「後見人の主な業務と市民後見人の強みとは」(講師：かとう社会福祉士事務所　社会福祉士　加藤貴之　氏) ・活動発表「市民後見人になって感じたこと」(新見市市民後見人　家本一道　氏) ・情報交換 ・市民後見人養成講座への受講案内 ◇成年後見制度及び権利擁護の利用促進、普及啓発 ・なんでも相談会 ・11 月 10 日　にいみ権利擁護セミナー　参加者 78 人 ・講演「成年後見制度の概要と今後の動向」(講師：司法書士　崎山晃史　氏) ・寸劇「楽しく学ぼう　成年後見制度」(社協職員有志による) ・11 月 28 日　出前講座：やまびこ広場・神郷　参加者 36 人 ・法人後見等移行支援事業の実施　該当ケース 1 件 ◇法人後見の実施 ・成年後見人等の受任状況　27 件受任中(新規 6 件(社協単独後見 4 件))、終了 3 件 ・法人後見支援員として 5 人活動中(被後見人 6 人) ・複数後見人との連携　専門職との共同後見 2 件、市民後見人との共同後見 6 件 ・5 月 9 日、9 月 10 日　法人後見運営委員会の実施 ・5 月 21 日　内部監査の実施

事業名	日常生活自立支援事業	事業区分	県社協受託事業
事業概要	判断能力が不十分な人が地域で自立した生活を送れるよう福祉サービスの利用援助や金銭管理等を行う。		
実施内容	◇判断能力が不十分な方の書類手続及び金銭管理支援 ・利用状況　28 人(認知症高齢者 4 人、知的障がい者 15 人、精神障がい者 9 人) ・生活支援員　12 人 ◇生活支援員の育成 ・2 月 18 日　生活支援員研修会　参加者 11 人(生活支援員 6 人、職員 5 人) ・講義「知識・技術・価値を磨く」(ノートルダム清心女子大学人間生活部人間生活学科　中井俊雄　准教授)		

事業名	生活福祉資金貸付事業	事業区分	県社協受託事業
事業概要	低所得者や高齢者、障がい者世帯等へ資金貸付による経済的支援及び相談援助を行う。		
実施内容	◇低所得・障がい者世帯等への資金貸付により、世帯の自立を図る ・相談件数 25 件(教育支援資金 1 件、福祉費 13 件、緊急小口資金 8 件、その他 3 件) ◇新型コロナ特例貸付「市町村社協相談支援体制強化推進事業」における相談支援業務 ・架電、郵送、訪問によるアウトリーチ件数 194 件 ・窓口対応件数 300 件 ・生活状況把握アンケートの実施　66 世帯		

事業名	家族介護者のつどい・くつろぎの家	事業区分	自主事業
事業概要	在宅介護者同士の交流や心身のリフレッシュの機会を提供する。また、要介護者の一時預かりを行い、お互いが安心して過ごせる場を提供する。		
実施内容	◇第 1 回　6 月 22 日　介護者のつどい 10 人、くつろぎの家 5 人 ・そば打ち体験、ヨガで心身ともにリフレッシュ ◇第 2 回　11 月 9 日　介護者のつどい 16 人、くつろぎの家 2 人 ・みそ造り、自分の事も大切に(フレイル予防の講話)		

事業名	ピオーラカフェ	事業区分	市受託事業
事業概要	認知症の人やその家族、地域の誰もが気軽に参加できる交流の機会や、専門職に相談できる場を提供し、認知症への理解を促進する。		
実施内容	◇第 17 回　5 月 22 日　参加者 24 人 ・「ほっこり優しくなれるこころの栄養補給のお話」さきがけホスピタル　河合宏　氏 ◇第 18 回　7 月 24 日　参加者 27 人 ・「根茎わさびのパワー　わさびで脳を活性化」千屋博労会館代表　竹本泉　氏 ◇第 19 回　9 月 25 日　参加者 26 人 ・ミニミニ運動会「みんなで体を動かして認知予防」 ◇第 20 回　11 月 27 日　参加者 42 人 ・「コーヒーと認知症」本格焙煎コーヒーで茶話会 ◇第 21 回　1 月 22 日　参加者 31 人 ・「脳が喜ぶ食事の話」、新春お茶会 ◇第 22 回　3 月 26 日　参加者 39 人 ・こども神楽、春の花でミニ花束を作ろう ※カフェでは、大学生ボランティアによる大学生企画コーナーも実施		

事業名	福祉車両・福祉機器等貸出事業	事業区分	市受託事業・自主事業
事業概要	障がいのある人等の通院や外出支援を目的として、福祉車両・福祉機器等の貸出を行う。		
取組内容	◇福祉車両の貸出 ◇障害者移動支援事業(受託事業) ・障がいや傷病により、福祉車両が必要な人への貸出 46 回 ◇ボランティア等車両貸出(自主事業) ・地区社協等が行う買い物ツアー等、地域活動者等への車両貸出 66 回 ◇車いすの貸出等		

内訳	令和 6 年度	令和 5 年度
車いす貸出件数	56 件	44 件
電動ベッド貸出件数	3 件	1 件

事業名	地域における公益的取組の促進	事業区分	自主事業
事業概要	新見市社会福祉法人連絡協議会と連携し、地域における制度の狭間にある様々な問題解決に向けて取り組む。		
取組内容	新見市社会福祉法人連絡協議会(新見市と 9 社会福祉法人 11 事業所で組織) ◇総会　5 月 30 日　9 法人 10 人、事務局 3 人出席 ・規約改正、事業報告・決算ほか、監事の補充 ◇事業推進会議 ・生活困窮者支援会議　7 月 1 日　8 人出席(事務局含む　以下同じ) ・災害支援会議　7 月 2 日　12 人出席 ・法人運営会議　7 月 29 日　14 人出席 ・災害支援・法人運営合同会議　9 月 26 日　20 人出席 ◇取組内容 ・災害時連絡体制に伴う図上訓練 9 月 3 日　24 人参加(LINE オープンチャット) ・フードドライブ活動(社協共催)11 月を強化月間とし各法人で食品を募集　541 点 ・ぴおーらキッチン　(社協共催)12 月 7 日　9 人参加 ・研修会開催(第 1 回)　11 月 26 日　38 人参加 ・社会福祉法人の地域における公益的取組の概要(講師：新見市社会福祉法人連絡協議会　吉田直記　会長) ・社会福祉法人愛誠会の地域貢献事業の概要(愛誠会　池田和泉施設長)		

	・研修会開催(第2回)唐松荘主催、法人連協共催　2月21日　連協から21人参加 ・オレンジランプ上映会、丹野智文トークショー(講師：オレンジドア実行委員会丹野智文　代表ほか) ・法人連協だより配布　にいみ社協だより3月号と併せて市内全世帯に配布 ・その他 ・11/10にいみ権利擁護セミナー後援 ・重点支援地方交付金の追加支給に伴う緊急要望(岡山県社会福祉法人経営者協議会)を新見市長へ提出

介護保険事業

【居宅介護支援事業】

要介護者ケアプラン作成(介護保険事業)

事業所	実績 (目標件数)	目標達成率	前年実績	前年からの増減
中央ケアセンター	1,544件 (1,548件)	99.7%	1,572件	△28件
神郷ケアセンター	1,099件 (1,080件)	102.0%	1,082件	17件

要支援者等ケアプラン作成ほか

事業所	要介護認定調査	介護予防 ケアプラン作成
中央ケアセンター	71件	149件
神郷ケアセンター	34件	115件

【訪問介護事業】

中央ヘルプセンター	実績	前年実績	増減
介護	4,154回	4,484回	△330回
総合事業	1,928回	2,696回	△768回
合計	6,082回	7,180回	△1,098回

稼働時間(概算)による評価

目標時間数	実績	目標達成率
29.2時間／日	25.3時間／日	86.6%

【通所介護事業】

中央デイサービスセンター	実績	前年実績	増減
介護	4,891人	4,862人	29人
総合事業	1,718人	1,551人	167人
合計	6,609人	6,413人	196人
1日あたり利用者数 (目標数)	27.2人 (28人)	26.4人 (28人)	0.8人
目標達成率	97.1%	94.2%	
定員に対する利用率	77.7%	75.4%	定員35人

神郷デイサービスセンター		実績	前年実績	増減
利用者数	介護	2,870 人	3,133 人	△264 人
	総合事業	636 人	702 人	△66 人
	合計	3,505 人	3,835 人	△330 人
1 日あたり利用者数 （目標数）		14.4 人 （18 人）	15.8 人 （21 人）	△1.4 人
目標達成率		80.0%	75.2%	
定員に対する利用率		48.0%	52.6%	定員 30 人

【訪問入浴介護事業】

中央訪問入浴介護事業所	実績	前年実績	増減
利用者数	190 人	285 人	△93 人
1 日あたり利用者数 （目標数）	1.3 人 （2 人）	1.9 人 （3 人）	△0.6 人
目標達成率	65.0%	63.3%	
定員に対する利用率	32.5%	47.5%	受入上限 4 人

障害福祉サービス事業

【居宅介護事業】

実施事業所	実績	前年実績	増減
中央ヘルプセンター	294 人	381 人	△87 人

【障害者デイサービス事業】

実施事業所	実績	前年実績	増減
中央デイサービスセンター	55 人	49 人	6 人

【移動支援事業（個別支援）】

実施事業所	実績	前年実績	増減
中央ヘルプセンター	0 人	0 人	0 人

【障害者訪問入浴サービス】

実施事業所	実績	前年実績	増減
中央訪問入浴介護事業所	50 人	46 人	4 人

在宅福祉事業

【新見市産後ヘルパー訪問事業】（受託事業）

○産後の体調不良により家事が困難な家庭等に対する、ホームヘルプサービス

実施事業所	実績	前年実績	増減
中央ヘルプセンター	13 人	19 人	△6 人

【子育て支援ヘルパー訪問事業】（受託事業）

○児童の養育が困難で子育て支援が必要な家庭に対する、ホームヘルプサービス

実施事業所	実績	前年実績	増減
中央ヘルプセンター	11 人	31 人	△20 人

団体活動支援

○各種機関との連絡調整、事業実施における支援を行い、団体の自立を推進した。
◇新見市老人クラブ連合会　◇新見市遺族連合会　◇新見市身体障害者福祉協会
◇神郷地域ボランティア協議会　◇哲西町ボランティア協議会

ボランティア保険加入促進

種類	令和６年度		令和５年度		備考
活動保険	148 件	3,215 人	141 件	3,234 人	加入年度に適用される保険
行事用保険	118 件	8,656 人	121 件	8,463 人	１行事のみに適用される保険

※上記のほか送迎サービス補償、福祉サービス総合補償などでボランティア活動を推進

人材育成活動

○大学・高等学校、一般の社会福祉士、介護支援専門員、看護師等の実習生を受け入れ、同行訪問等現場実習の指導を実施。

・新見公立大学　地域福祉学科４年生　コミュニティ・ソーシャルワーク実習１人受入
　前期６月 17 日～7 月３日、後期７月 11 日～8 月１日(全 29 日間)
・新見公立大学　地域福祉学科　介護実習２人受入(各５日間)
　中央ヘルプセンター　６月 17 日～6 月 21 日
・新見公立大学　看護学科　在宅看護実習 38 人受入
　中央ケアセンター　４月９日～6 月 25 日(21 人)、９月 18 日～12 月 18 日(15 人)
　神郷ケアセンター　４月 17 日～7 月 24 日(12 人)、９月 25 年日～12 月 19 日(12 人)
・岡山県介護支援専門員実務研修見学実習　４人受入(3 日間)
　中央ケアセンター　２月７日、3 月 13 日、3 月 25 日
　神郷ケアセンター　２月７日、3 月 21 日、(4 月 23 日)